

## 令和元年度 功 勞 賞 受 賞 者

(市町村体育・スポーツ協会推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
1	わたなべ まさよし 渡部 正芳	平成15年 5月～24年 3月 鶴岡市体育協会 副会長 平成24年 3月～28年 5月 NPO法人鶴岡市体育協会 副会長 平成28年 5月～令和元年 5月 NPO法人鶴岡市体育協会 会長	鶴岡市 体育協会	平成15年から令和元年まで、16年にわたり鶴岡市体育協会副会長、会長の要職を務められ、地域におけるスポーツの振興・発展に尽力されるとともに、法人化を成し遂げるなど、協会組織の強化と円滑な運営に果たされた功績は大である。
2	あべ みつゆき 阿部 光行	平成15年 5月～17年 5月 鶴岡市体育協会 常任理事 平成17年 5月～24年 3月 鶴岡市体育協会 副会長 平成24年 3月～27年 6月 NPO法人鶴岡市体育協会 副会長 平成25年 9月～29年 5月 NPO法人鶴岡市体育協会 専務理事	鶴岡市 体育協会	平成15年から鶴岡市体育協会の常任理事を2年、副会長10年、専務理事を3年8カ月(内、副会長兼務1年8カ月)務められ、地域におけるスポーツの振興・発展に尽力されるとともに、市体協の法人化をはじめ、組織の強化と円滑な運営に果たされた功績は大である。
3	あべ のぶや 阿部 信矢	昭和63年 5月～平成2年 5月 鶴岡市体育協会 常任理事 平成 2年 5月～24年 3月 鶴岡市体育協会 監事 平成24年 3月～28年 5月 NPO法人鶴岡市体育協会 監事	鶴岡市 体育協会	昭和63年から平成28年まで28年の長きにわたり、鶴岡市体育協会の常任理事、監事を務められ、協会の発展に尽力された。その間、鶴岡相撲連盟や鶴岡市剣道協会の会長として、競技スポーツの普及・強化にも努められるなど、地域におけるスポーツの振興・発展及び市体協の組織の強化に果たされた功績は大である。

(競技団体推薦)

番号	氏 名	ス ポ ー ツ 関 係 歴	推薦団体	推 薦 理 由
4	ながさわ よしてる 長澤 吉輝	平成11年 4月～27年 3月 山形陸上競技協会 常任理事兼審判部長 平成27年 4月～現在 (一財)山形陸上競技協会 常務理事兼競技委員長	山形 陸上競技 協会	山形陸上競技協会の常任理事、法人化後は常務理事として、長年にわたり組織運営に携わり、本県陸上競技界の発展に尽力された。陸上競技を通して、山形県スポーツの発展に貢献した功績は大である。
5	うえまつ まさみ 植松 正巳	平成11年 4月～19年 3月 山形県水泳連盟 評議員 平成19年 4月～25年 3月 山形県水泳連盟 理事・事務局次長 平成25年 4月～現在 山形県水泳連盟 常任理事・事務局長	山形県 水泳連盟	平成11年から現在に至るまで21年間にわたり、評議員・理事・事務局次長・事務局長として、山形県水泳連盟の発展に貢献された。平成19年から現在まで、事務局次長、事務局長の要職にあり、県内各地区水泳連盟との連携に力を発揮し、現在の県水泳連盟の強固な基盤づくりに尽力された。また、令和元年度に行われた山形県水泳連盟創立70周年記念事業の成功に寄与した功績は大きい。 特に、平成25年からは事務局長として本県水泳界の普及・発展に貢献され、現在も競泳競技A級審判員として各種大会に赴き、大会運営の充実と後輩競技委員の育成に力を注いでいる。
6	さとう ひろし 佐藤 弘	平成16年 4月～31年 3月 山形県バスケットボール協会 副会長 平成14年 4月～28年 3月 東北ブロック審判審査委員、山形県審査委員長 平成 2年 4月～26年 3月 日本車椅子バスケットボール連盟日本公認審判(平成14年からは東北初の終身公認審判) 平成16年 4月～令和元年 3月 鶴岡バスケットボール協会 会長	山形県 バスケットボール 協会	永く上級審判員として活躍し、平成14年度に新設された全国審判審査制度により、東北ブロック審判審査委員及び山形県審査委員長として本県の上級審判員の育成指導に尽力した。また、平成4年のべには国体(障がい者スポーツ大会)で実施された車椅子バスケットボールのために、当時少なかった車椅子バスケットボール日本公認審判を取得し、平成4年から平成25年まで毎年北海道・東北ブロック車椅子バスケットボール大会や東北選手権大会に参加し、審判員の普及育成に尽力し、本県バスケットボール並びに車椅子バスケットボールの普及発展に大きな功績を残した。
7	あびこ しゅうじ 安孫子 秀次	平成11年 4月～現在 山形県ソフトテニス連盟 理事 平成11年 4月～現在 山形県小学生ソフトテニス連盟 理事長	山形県 ソフトテニス 連盟	永年にわたり、小学生のソフトテニス競技の指導・普及に努めた。平成11年から、組織化した山形県小学生ソフトテニス連盟の理事長として、ソフトテニス連盟の競技力向上に尽力された。特に、平成27年の全日本小学生選手権大会(富山大会)での男子団体第2位、平成28年の同大会(山形大会)では女子団体優勝に導いた。
8	あじき としひろ 安食 俊博	昭和52年 4月～平成 8年 3月 山形県卓球協会 理事 平成 8年 4月～18年 3月 山形県卓球協会 副理事長 平成14年 4月～18年 3月 山形県卓球協会 事務局長 平成18年 4月～22年 3月 山形県卓球協会 理事 平成22年 4月～24年 3月 山形県卓球協会 副理事長 平成24年 4月～現在 山形県卓球協会 副会長	山形県 卓球協会	昭和52年から山形県卓球協会理事として、現在までの43年間にわたり活躍され、卓球界の普及・発展、競技力向上に寄与され、その存在は、県内外から高い評価と信頼を得ている。平成8年から18年の間に副理事長として、平成11年全国ろうあ者体育大会、同年全国スポーツレクリエーション大会、平成13年全国社会人卓球選手権大会など、多くの全国・東北大会の成功のため、準備から大会運営まで万般にわたり手腕を発揮され大会を成功裡に導いた。 また、卓球技術の指導には特質するものがあり、母校である寒河江高校のコーチとして、毎年数多くの選手を育成し全国大会に導いた。

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
9	やまざき かずお 山崎 和夫	平成元年 4月～現在 米沢地区野球連盟 強化指導部員 平成 7年 4月～26年 3月 米沢地区野球連盟 強化指導部長 平成26年 4月～現在 米沢地区野球連盟 副会長 平成11年 4月～21年 3月 山形県野球連盟 評議員 平成26年 4月～28年 3月 山形県野球連盟 監事 平成28年 4月～現在 山形県野球連盟 理事	山形県 野球連盟	長年にわたり、山形県野球連盟・米沢地区野球連盟役員として、本県野球界の技術力向上並びに大会運営に尽力した。特に、平成3年の第35回高松宮賜杯全日本軟式野球大会、平成4年の第47回国民体育大会軟式野球競技、平成15年の都市対抗野球東北二次予選会、平成27年の第37回東日本軟式野球大会、平成30年開催の天皇賜杯第73回全日本軟式野球大会、その他山形県総合体育大会をはじめ各種大会での運営に競技役員として力を発揮し成功に導き、本県スポーツ界特に野球界の発展に多大な貢献を成した。
10	あいそ ともよし 相蘇 知芳	平成10年 4月～14年 3月 飽海地区ソフトボール協会 理事 平成14年 4月～30年 3月 飽海地区ソフトボール協会 事務局長 平成14年 4月～30年 3月 山形県ソフトボール協会 理事・財務委員・総務副委員長 平成30年 4月～現在 山形県ソフトボール協会 常務理事・指導者委員長	山形県 ソフトボール 協会	平成2年から地元チームのソフトボール選手、平成7年に飽海協会に入会し第3種公認審判員を取得。平成11年に第1種公認審判員取得、平成19年には公認スポーツ指導者資格を取得し、現在も酒田シニアチームで活躍中である。平成14年から飽海協会事務局長を務めた間、全国大会を2度開催、平成27年には日本女子1部リーグ山形大会酒田大会を開催するなど、県協会ははじめ飽海地区協会の会員からの信望も厚く、審判員としての活躍と後輩への指導助言等の実績は計り知れず、役員としての協会運営の推進など、ソフトボール競技への貢献は大である。
11	いがらし よしかず 五十嵐 義一	平成 9年 4月～25年 3月 山形県剣道道場連盟 理事長 平成25年 4月～現在 山形県剣道道場連盟 会長 平成20年 4月～25年 3月 山形県剣道連盟 副会長 平成25年 4月～現在 (財)全日本剣道道場連盟協議会 評議委員	山形県 剣道連盟	永年にわたり、山形県剣道連盟副会長並びに県剣道道場連盟役員として、本県及び地域剣道の振興・発展に大きく寄与された。特に、県剣道道場連盟理事長並びに会長として、スポーツ少年団を通じた本県少年剣道の普及・振興に大きな実績を挙げ、現在の少年剣道の礎を構築した功績は大である。
12	よしだ かつみ 吉田 克己	平成 5年 4月～16年 3月 山形県カヌー協会 理事 平成16年 4月～現在 山形県カヌー協会 副理事長 平成16年 4月～29年 3月 河北町カヌー協会 会長	山形県 カヌー協会	山形県カヌー協会の理事、副理事長として、協会設立当初から組織運営、競技運営に携わり、カヌー競技の発展に尽力された。また、河北町カヌー協会会長として、競技人口の拡大、競技力向上のため、小学生のクラブチームで自ら指導し、中学校への橋渡しを担っていた。その中には、ジュニア日本代表選手、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会で優勝する選手も輩出した。本県カヌー競技の普及・振興に貢献された功績は大である。
13	たしろ ちょうたろう 田代 長太郎	平成10年 4月～30年 3月 山形県クレー射撃協会 理事	山形県 クレー射撃 協会	選手として、べにばな国体ほか国体10回連続出場。大阪国体団体8位・個人スキート6位入賞。東北総合体育大会スキート種優勝など多数の入賞歴がある。40年間にわたり競技を続け、多くの輝く成績を残すとともに、後進の指導に尽力された。
14	たかはし ひろし 高橋 博	平成元年 4月～ 3年 3月 山形県ボウリング連盟 監事 平成 3年 4月～ 5年 3月 山形県ボウリング連盟 理事(べにばな国体強化部長) 平成 5年 4月～現在 山形県ボウリング連盟 副理事長(競技力向上委員・7種17資格審査委員)兼競技委員長 平成13年 4月～31年 3月 東北地区ボウリング連合 理事(競技委員担当)	山形県 ボウリング 連盟	長年にわたり、山形県・東北の競技委員として携わり、積極的に競技指導に尽力し数多くの優秀選手を育て、現在も本県ボウリング界のレベル向上に貢献されている。特に、平成4年度のべにばな国体では、強化部長として本県のボウリング史上最高の総合優勝を挙げ、競技力向上に真摯に取り組んできた功績は大である。 また、本県スポーツボウリング競技の普及・発展及び地域スポーツの活性化のため、堅実な組織運営と誠実な指導力を発揮し、競技委員長として幅広い知識を持ち、スポーツ環境の整備を進めるなど本県の生涯スポーツ振興の面からも大きく貢献している。

令和元年度 功労賞(ライオンズスポーツ賞)受賞者

(競技団体推薦)

番号	氏名	スポーツ関係歴	推薦団体	推薦理由
1	つばき ひろし 椿 央	第43回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 男子5000m 優勝 森野太陽 男子チームパシュート 優勝 森野太陽・櫻井俊太郎・關口佳弘(山形中央高) 女子チームパシュート 優勝 小坂凜・福田琴音・真野美咲(山形中央高) 第69回全国高等学校スケート競技選手権大会 女子学校対抗 優勝 (山形中央高) 女子1000m 優勝 真野美咲 女子2000mリレー 優勝 小坂凜・高橋侑花・古川幸希・真野美咲(山形中央高) 女子チームパシュート 優勝 小坂凜・福田琴音・真野美咲(山形中央高)	山形県 スケート連盟	山形県スケート連盟強化部長並びに県立山形中央高校スケート部監督として、長年にわたり選手強化に尽力されている。本県スピードスケート界の競技力向上への道を大きく開拓し続けている功績は顕著である。 今年度は、森野、小坂、高橋、真野の4選手がジュニアワールドカップ大会に出場、入賞等の活躍した。インターハイでは、女子2000mリレー優勝、女子チームパシュートは大会新で優勝、学校対抗で女子総合4連覇に導いた。さらに、高橋選手をユース五輪1500mで銀メダル獲得に導いた。
2	あしの たかし 芦野 貴士	第74回国民体育大会 カヌー競技 少年男子カヤックフォア 200m・500m 優勝 設楽・小野・荒木・古澤(谷地高) 令和元年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会 男子カヤックフォア 500m 優勝 押野・荒木・古澤・松浦(谷地高)	山形県 カヌー協会	県立谷地高等学校カヌー部顧問として、ジュニア日本代表選手を3名輩出し、世界大会では男子カヤックペア1000mでB決勝6位まで導いた。全国高等学校総合体育大会、国民体育大会において数多くの優勝・入賞を収めた。その指導は選手一人ひとりに合ったプレースタイルを確立させ、チーム全体の底上げに励んでいる。本県スポーツ活動に大きく寄与された。
3	あきば ちゆき 秋場 千幸	JOCジュニアオリンピックカップ令和元年度全国中学生カヌー大会 男子カヤックシングル 優勝 押野優太(河北中) 男子カヤックペア 優勝 押野優太・木嶋怜斗(河北中)	山形県 カヌー協会	大人数部員のカヌー部でありながらも、選手たち個々の力を引き出す指導で全国大会入賞に導いている。特に今年度は、男子カヤックを2冠に導き、本県スポーツ活動に大きく寄与された。